

ヨーロッパ政治 I

科目ナンバリング POL-311
選択 2単位

渡邊 啓貴

1. 授業の概要(ねらい)

フランスの近代以後の政治史を理解し、現在のフランス政治についての関心と理解を深めることができる授業にする。

2. 授業の到達目標

フランス政治の歴史をその時々大きな政策や論争を軸に、たどっていく。それはデモクラシーの試行錯誤であり、日本の政治との大きなちがいを知ることになるが、同時にそこから我が国の政治の在り方を考える大きなヒントがつかめるはずである。

3. 成績評価の方法および基準

レポート(40%)と出席(60%)

4. 教科書・参考文献

教科書

渡邊啓貴 現代フランス 岩波書店

渡邊啓貴 フランス現代史 中央公論新書

5. 準備学修の内容

日ごろからフランスに関する情報を収集しておくこと。教科書や参考書をよく読んでおくこと。

6. その他履修上の注意事項

学生との間でコミュニケーションをとりながら授業を行う。

7. 授業内容

- 【第1回】 フランス革命とデモクラシー
- 【第2回】 19世紀フランスの政治---王党派との闘い、人種排外主義
- 【第3回】 両大戦間期のフランス政治
---保守派連合から左翼連合へ、そして保守派政治と人民戦線内閣の誕生
- 【第4回】 第二次大戦とフランス政治---人民戦線の崩壊からヴィシー政権へ
- 【第5回】 ドゴールの臨時政府から第四共和制の政治
- 【第6回】 アルジェリア危機から第五共和制の誕生
- 【第7回】 ドゴール時代
- 【第8回】 ポンピドー・ジスカール政権の時代
- 【第9回】 ミッテラン時代のフランス1
- 【第10回】 ミッテラン時代のフランス2
- 【第11回】 シラク時代のフランス1
- 【第12回】 シラク時代のフランス2
- 【第13回】 サルコジ時代のフランス
- 【第14回】 オランド時代のフランス/
- 【第15回】 マクロン政権のフランス